

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	放課後児童健全育成事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備 及び運営に関する基準を定める条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	14年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期	未定
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内に居住する小学校児童で昼間保護者のいない家庭の児童														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	保護者の仕事が終わるまでの安全の確保及び遊びや学習活動を通して自主性、社会性、創造性を身につける。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	平成27年に施行した当該事業にかかる条例を遵守し、各児童クラブの運営委員会と連携を取りながら、放課後児童の健全育成を支援していく。 安心・安全な受け入れ環境を整えるために、老朽化が著しい桑島・林崎の2児童クラブの施設改善に取り組む。また、高学年まで受入ができていない児童クラブについて、協議を進める。さらに、児童クラブ利用料の軽減事業を実施する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童クラブ年間平均登録児童数</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>630</td> <td>630</td> <td>650</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	児童クラブ年間平均登録児童数	550	600	630	630	650	人
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
児童クラブ年間平均登録児童数	550	600	630	630	650	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。また、各児童クラブ運営委員会及び支援員との連携を密にし、円滑な事業運営を支援した。 老朽化が進む施設(旧児童館使用施設)で事業を実施している桑島、林崎児童クラブについて、安心・安全な環境づくりのために、施設の改築を行うほか高学年児童の利用希望に対応するため、それぞれ1クラスずつ増設できるよう施設規模を拡大した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市児童クラブ(支援の単位)数	16	16	17	17	17	クラス
	2	平均年間開所日数	290	290	290	290	290	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	児童クラブ年間平均登録児童数		605	630	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			105.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	82,740	48,533	10,100	0	45,806	187,179
		補正予算額	4,644	2,244	8,100	0	451	15,439
		繰越予算額	34,168	8,541	12,800	0	5,314	60,823
		全体予算額	121,552	59,318	31,000	0	51,571	263,441
		決算額	120,659	58,157	30,600	0	50,280	259,696
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
	0.3	0.2	2,669		262,365			

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	93,732	259,696	122,637	122,637	122,637
	うち一般財源	30,547	50,280	42,853	42,853	42,853
	人件費	2,549	2,669	2,669	2,669	2,669
	総事業費	96,281	262,365	125,306	125,306	125,306

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		昼間保護者のいない放課後児童の健全育成を図るために欠かせない事業である。
	効率性	A:効率的だった		児童クラブ運営委員会及び各クラブ支援員との連絡を密に行い、事業を円滑、効率的に実施した。
②成果に対する評価	指標名	児童クラブ年間平均登録児童数		平成27年度から本格施行された子ども・子育て支援新制度を受け、対象学年を全学年に拡充したことから、年々、事業に対する需要が高まっている。29年度に施設整備を行い、30年度から受入れを拡充できた。今後も高学年児童の受入れのための取組を進める。
	目標	600	人	
	実績	630	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化などにより、年々利用ニーズは高まっている。事業の継続は、児童の放課後における居場所づくりの観点からも必要な事業である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	放課後児童健全育成事業の基準条例で、面積や定員等の基準については経過措置を規定し、現状の水準での事業実施を可能としているが、早期の基準適合に向けた体制整備を行っていく必要がある。また、高学年児童の受け入れを制限しているクラブについて、受け入れ可能となるような環境整備が急務となっている。受け入れ児童の拡充や施設の改善について、今後も小学校や教育委員会と綿密な協議を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	高学年児童の受け入れができていない児童クラブについて、受入可能体制を整えるために、小学校・教育委員会・運営委員会との協議を進める。			
	H31年度	小学校・教育委員会・運営委員会との協議結果をもとに事業の推進を図る。			